

10月号

地域おこし協力隊しんぶん

今月の担当は
清内路地区です!



こんにちは。清内路地区の二川です。あっという間に今年度も半年が過ぎて、下半期に突入してしまいました。最近、阿智村ならではの生き方・生活が、一つでも、二つでもいいからできないかと考えています。ここに居ることができる事、ここに居なくちゃできない事。任期後につながる活動をしっかりしていきたいと思えます!



ふたがわ まいか
二川舞香

◇ 健康の森へようこそ

今年の夏は暑かったですね!いつもは涼しい健康の森も今年は・・・
名古屋などから涼を求めて登ってきてくださるのですが、お客様もみんな驚いていました。ここにいると自然には逆らえないし、自然の恵みで生きているのだなあと思えて感じます。是非、秋を感じに健康の森まで上がってきてください。お待ちしております。

◇ 村民劇プロジェクト

9月1日健康の森を使ってお楽しみ会を開きました。大人の部「よだかの星」、子どもの部「流れ星と山猫〜どんぐりと山猫より〜」それぞれ作品を発表しました。みんな、ちゃんと成長していたようで(笑) スタッフや家族の方が驚いていました。11月11日(日) 飯田人形劇場で行われる伊那谷文化芸術祭に参加予定です。今は本番に向けて練習中です。是非観に来てください。随時、新しいメンバーは募集しています。少しでも興味のある方は練習に遊びに来てくださいね。お待ちしております。



◇ Wake upプロジェクト

眠っているモノを起こして再び活かすプロジェクト。6月の終わりに、皮むき間伐「きらめ樹」の体験会を行いました。今まで山の事には手が出せない、見ているしかないと思っていた女性たちが中心に集まってくれました。「きらめ樹」を行っているNPO法人森の蘇りの方が来てくださり、日本の森の事、世界の森の事、今山に手を入れなければいけない事などお話ししてくれました。今回皮をむいた樹は、一年かけて天然乾燥され、来年伐採します。伐採後の活用も含めて考えていきたいと思っています。

◇ 野良猫の不妊去勢手術

協力隊の活動ではありませんが、昨年3月に阿智村中央公民館で実施した野良猫の不妊去勢手術(TNR)を今年度中にもう一度行いたいと思っています。この間に何件か、野良猫の相談や、仔猫を保護したのだけどもというご相談をいただきました。小さい命に優しい目を向けてくださる方がいて本当に嬉しいです!その反面、野良猫が増えて迷惑をうけてしまう方がいるのも事実です。“殺す”という選択ではなく、これ以上野良猫が増えないように手術を行い“生かす”という選択をしませんか?まだ時期や場所など決まっていますが、協力してくださる方、お手伝いしてくださる方など大募集です。お気軽にお声がけください。



来月の担当は
智里西地区です!